

2021 年総合生活改善 第 6 回中央戦術委員会 ＜確認事項＞

2021 年 5 月 28 日
自動車総連

1. 全体の解決状況

☆ 自動車総連全体の解決目標としていた 4 月末以降も中小単組を中心に粘り強い交渉を重ねてきた結果、昨日までに集計対象 1,043 単組の 87.7%にあたる 915 単組が、賃金・年間一時金等について妥結又は妥結方向となっている。

1) 月例賃金

- ・個別賃金については 663 単組が要求し、現時点で 173 単組が回答を引き出している。
- ・平均賃金については、賃金カーブ維持分と賃金改善分を合わせた引き上げ額全体の平均は 4,360 円。賃金改善分の獲得割合は 46.6%、平均獲得額は 1,251 円となっている。人数規模別で見ると、賃金改善分の獲得割合・獲得額ともに 299 人以下の中小単組が大手を上回るなど、中小単組の奮闘ぶりが数字にも表れている。
- ・また、賃金課題や賃金制度の解決・見直しに向けた労使委員会等での継続協議や、中期的に目指す賃金水準の労使での共有等、「絶対額を重視した取り組み」の前進感を得た単組も多く見受けられ、全体として取り組みが着実に進展しているものと受け止める。

		解決単組数	賃金改善分 獲得単組数	平均回答額 〔カーブ維持分+改善分〕	平均回答額 〔賃金改善分〕
全体		915/1,043 87.7% (82.8%)	426 (580)	4,360 円 (4,621 円)	1,251 円 (1,221 円)
業 種 別	メーカー	10/10	4 (13)	6,740 円 (6,851 円)	1,000 円 (1,073 円)
	車体・部品	365/373	136 (224)	4,229 円 (4,486 円)	820 円 (865 円)
	販売	459/562	252 (293)	4,534 円 (4,715 円)	1,530 円 (1,481 円)
	輸送	22/27	10 (12)	2,229 円 (3,556 円)	680 円 (1,092 円)
	一般	59/71	24 (38)	4,220 円 (4,775 円)	1,039 円 (1,462 円)
規 模 別	3000 人～	30/30	9 (28)	6,018 円 (6,713 円)	789 円 (1,082 円)
	1000～2999 人	59/62	19 (46)	4,874 円 (5,237 円)	663 円 (772 円)
	500～999 人	121/125	60 (81)	4,711 円 (4,874 円)	1,042 円 (1,091 円)
	300～499 人	103/110	45 (81)	4,428 円 (4,804 円)	1,086 円 (1,041 円)
	～299 人	602/716	293 (344)	4,170 円 (4,371 円)	1,366 円 (1,362 円)

()は前年同時期の数字。

2) 年間一時金

- ・年間協定による回答を引き出した 708 単組における年間回答月数の平均は 4.33 ヲ月となっている(前年同時期 4.46 ヲ月)。その内、216 単組が 5 ヲ月以上を獲得しているとともに、前年と月数比較可能な単組の内、344 単組が前年以上の回答を獲得している。

3) 働き方の改善

- ・自動車産業の変革期やコロナ禍による変化を踏まえ、多くの単組において、各職場の課題解決や生産性向上、そして新たな時代の働き方に向けた積極的な議論が行われ、職場課題の解決に向けた取り組みを加速させることができている。

4) 企業内最低賃金

- ・現時点では14単組で新規締結、83単組で締結水準の引き上げ、2単組で対象者拡大に至っている。締結額の平均は164,371円と、前年同時期(164,099円)から引き上がっている。

5) 非正規雇用で働く仲間

- ・本年、何らかの形で非正規労働者の処遇改善に取り組んでいる単組は519単組となっており、その内138単組において、時給や日給の有額での賃上げや、一般組合員に連動した一時金の獲得などの進展が見られている。

2. 今後の進め方

- ☆ 自動車総連全体の解決目標である4月末時点の解決率は82.9%（前年78.3%）、現時点では87.7%（前年82.8%）と、前年同時期を上回る状況となっている。
- ☆ 残る未解決単組については、各労連の個別サポートのもと、納得のいく回答引き出しに向け最後の追い上げを図るとともに、速やかな解決を目指す。
- ☆ 自動車総連としても、各労連・単組のサポートを着実に実行すべく、妥結情報の速やかな共有などを通じ交渉の後押しを図るとともに、中央戦術委員会による交渉体制を継続し、自動車総連一体となって取り組んでいく。

以 上